

# 日本のノーベル賞受賞者数 アジアNO1 世界8位

スウェーデン化学者のアルフレッド・ノーベルの遺産を、彼の遺志に基づき設立されたノーベル財団から「人類の福祉に最も貢献した人々」に送られる賞です。

当初「物理学」「化学」「生理学・医学」「平和」の5部門だったが、後に「経済学賞」が加わりの6部門となった。授賞式は毎年、ノーベルの命日に当たる12月10日に行われ、受賞者には賞状と金のメダル、賞金が贈られます。

特に自然科学部門のノーベル物理学賞、化学賞、医学生理学賞の3部門における受賞は科学分野における最大級の栄誉であると考えられています。

## ノーベル受賞者の多い国は

- 1位 米国 326名
- 2位 英国 108名
- 3位 独国 81名
- 4位 仏国
- 5位 スウェーデン
- 6位 スイス
- 7位 ロシア
- 8位 日本 18人
- 9位 オランダ
- 10位 イタリア

- 中国 1名
- 韓国 1名

受賞者へは賞状とメダルと賞金が与えられる。受賞者に与えられる賞金の原資は、ノーベルの遺産をその遺言に基づいてノーベル財団が運営している。

しかし、「経済学賞」は1968年に設立され(1969年から授賞)、その原資はスウェーデン国立銀行の基金による。そのため、この賞は正式名称を「アルフレッド・ノーベルを記念した経済学におけるスウェーデン国立銀行賞」としており、厳密にはノーベル賞には含めない場合も多い。

2001年から現在まで賞金額は1,000万スウェーデン・クローナ(約1億円)である。しかしスウェーデンのノーベル財団は2012年6月11日の理事会で、過去10年間にわたって運用益が予想を下回ったこと等を理由として、2012年のノーベル賞受賞者に贈る賞金を2割少ない800万スウェーデン・クローナ(約8,900万円)とすることを決めた。

賞金の配分については、受賞者が2人(団体)の場合は全賞金を折半する。受賞者が3人(団体)の場合は、「1人ずつが単独の研究による受賞」「3人の共同研究による受賞」であれば1/3ずつ分けられ、「1人が単独、2人が共同研究による受賞」であれば単独受賞の人物が1/2、共同受賞の2人が残りの1/2(1人あたり1/4)を得る形になる。

受賞年	賞	氏名等	備考
2012年	生理学・医学賞	山中伸弥(神大卒)	京都大学iPS細胞研究所長・教授(受賞時)
2010年	化学賞	根岸 英一(東大卒)	米国パデュー大学特別教授(受賞時)
"	"	鈴木 章(北大卒)	北海道大学名誉教授(受賞時)
2008年	物理学賞	南部 陽一郎(東大卒)	米国シカゴ大学名誉教授(受賞時:米国籍)
"	"	小林 誠(名大卒)	高エネルギー加速器研究機構名誉教授(受賞時) 元京都大学理学部助手
"	"	益川 敏英(名大卒)	京都大学名誉教授(受賞時)
"	化学賞	下村 脩(長崎大卒)	米国ボストン大学名誉教授(受賞時)
2002年	化学賞	田中 耕一(東北大卒)	株式会社島津製作所フェロー(受賞時)
"	物理学賞	小柴 昌俊(東大卒)	東京大学名誉教授(受賞時)
2001年	化学賞	野依 良治(京大卒)	名古屋大学理学部教授(受賞時)
2000年	化学賞	白川 英樹(東工大卒)	筑波大学名誉教授(受賞時)
1994年	文学賞	大江 健三郎(東大卒)	作家
1987年	生理学・医学賞	利根川 進(京大卒)	米国マサチューセッツ工科大学教授(受賞時)
1981年	化学賞	福井 謙一(京大卒)	京都大学工学部教授(受賞時)
1974年	平和賞	佐藤 栄作(東大卒)	元内閣総理大臣
1973年	物理学賞	江崎 玲於奈(東大卒)	米国IBMワトソン研究所主任研究員(受賞時)
1968年	文学賞	川端 康成(東大卒)	作家
1965年	物理学賞	朝永 振一郎(京大卒)	東京教育大学教授(受賞時)
1949年	物理学賞	湯川 秀樹(京大卒)	京都大学理学部教授(受賞時)